

### 第3回広島市・海田町合併研究協議会 会議要旨

平成14年(2002年)11月8日(金曜日)午後3時から4時まで、広島市議会議事堂4階全員協議会室において、第3回広島市・海田町合併研究協議会を開催した。会議の概要は次のとおりである。

#### 1 会議の次第

- (1) 開会
- (2) 議事
  - 議題1 財産及び公の施設の取扱い(案)【協議番号第4号】
  - 議題2 一般職職員の身分の取扱い(案)【協議番号第5号】
  - 議題3 使用料、手数料、負担金等の取扱い(案)【協議番号第6号】
  - 議題4 介護保険事業の取扱い(案)【協議番号第7号】
  - 議題5 下水道事業の取扱い(案)【協議番号第8号】
  - 議題6 広島市・海田町合併建設計画素案(序論・基本構想(案))
- (3) 閉会

#### 2 出席委員の氏名

##### < 広島市 >

|    |                         |       |  |
|----|-------------------------|-------|--|
| 会長 | 広島市長                    | 秋葉 忠利 |  |
| 委員 | 広島市議会議長                 | 平野 博昭 |  |
| 委員 | 広島市議会副議長                | 戸田 満  |  |
| 委員 | 広島市議会大都市制度推進対策特別委員会委員長  | 木山 徳和 |  |
| 委員 | 広島市議会大都市制度推進対策特別委員会副委員長 | 村上 通明 |  |
| 委員 | 広島市議会大都市制度推進対策特別委員会副委員長 | 若林 新三 |  |
| 委員 | 広島市議会総務委員長              | 熊本 憲三 |  |
| 委員 | 広島市助役                   | 山田 康  |  |
| 委員 | 広島市企画総務局長               | 三宅 吉彦 |  |
| 委員 | 広島市財政局長                 | 平野 隆  |  |
| 委員 | 広島市議会事務局長               | 原田 尚武 |  |

##### < 海田町 >

|     |                     |       |  |
|-----|---------------------|-------|--|
| 副会長 | 海田町長                | 加藤 天  |  |
| 委員  | 海田町議会議長             | 河野 道昭 |  |
| 委員  | 海田町議会副議長            | 中岡 長一 |  |
| 委員  | 海田町議会合併問題調査特別委員会委員長 | 前田 勝男 |  |
| 委員  | 海田町議会議員             | 山岡 寛次 |  |
| 委員  | 海田町議会議員             | 住吉 充  |  |
| 委員  | 海田町議会議員             | 原田 幸治 |  |
| 委員  | 海田町議会議員             | 斎木 貞暁 |  |
| 委員  | 海田町助役               | 松岡 修士 |  |
| 監事  | 海田町収入役              | 正木 洋  |  |
| 委員  | 海田町企画部長             | 中野 潔  |  |
| 委員  | 海田町総務部長             | 上條 正弘 |  |

### 3 公開・非公開の別

公開

### 4 傍聴人の人数

なし

### 5 会議資料名

第3回広島市・海田町合併研究協議会資料

### 6 会議要旨

#### (1) 開会

#### (2) 議事

議題1 財産及び公の施設の取扱い(案)【協議番号第4号】

議題2 一般職職員の身分の取扱い(案)【協議番号第5号】

議題3 使用料、手数料、負担金等の取扱い(案)【協議番号第6号】

議題4 介護保険事業の取扱い(案)【協議番号第7号】

議題5 下水道事業の取扱い(案)【協議番号第8号】

議題6 広島市・海田町合併建設計画素案(序論・基本構想(案))

6つの議題について、配布資料により事務局長から一括して説明があった。

これに対して、山岡委員から、合併建設計画素案の計画期間を10年間としているのを5年程度に短縮してほしい旨の発言があり、事務局から、合併特例債や合併算定替という非常に有利な国の財政支援措置が10年間であることを勘案したもので、海田町にとっても有利な合併建設計画になると考えている旨の説明があった。

また、斎木委員から、合併建設計画で計画自体は10年間でよいが、重点的なものは5年間で実施する等の区切りをつけてはどうかとの発言があり、事務局から、計画の熟度や財政的な裏づけ等を勘案したうえで年次割を考慮しながら計画づくりをしたい旨及び、できるだけ早期にまちづくりをすることについて配慮しながら計画づくりを行いたい旨の説明があった。

斎木委員から、調整にあたって海田町の独自性に理解を求める旨の発言があった。

議長が以上の指摘に留意の上、今後の協議を進めることとして、6つの議題についての了承を求め、全会一致で原案どおり了承された。

#### (3) 閉会

議長は、以上を持って本日の議事を終了した旨を述べ、閉会した。